



草笛学園 2024年 1月号

新年あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。

冬休みが終わり、3学期が始まりました。いよいよ今年1年の集大成ですね。草笛学園の外来教室も残りわずかです。あと数回となりますが、親子で色々な活動を楽しんでもらえたらいいなと思っています。今年もよろしくお祈りします。



【仲間から必要とされる自分】

★思考をめぐらせ、見つめ直すころ

四歳児は、仲間関係だけではなく、まわりの世界の出来事や自分についても見つめ直すようになります。(中略)

四歳から五歳にかけて、表面的なものにすぐに反応せず、思考をめぐらすことができ始め、自分やまわりの出来事を「ちょっと待てよ」と見つめ直すようになります。ここには、心のなかでつぶやきながら、ことばを使って考える力の育ちを見ることが出来ます。おとなや仲間と互いの思いをことばで伝え合うことによって、「心のなかの対話」の土壌が耕され、考える力の根っこが育ってきているのです。

思考をめぐらせることで、子どもたちは「見えないもの」を見ようとしていると言えます。たとえば、人の心。急に賞賛してきた人の下心を探してみたり、元気のない友だちの気持ちを想像したりするのは、見えない心の状態を見ようとする事です。人の心を意識するからこそ、「ナイショ」話や、「人知れず」自分の思いを秘める姿が見られるようになります。(後略)

★心揺らぎやすきころ

以上のような力を獲得し始めた子どもたちは、「すごい」仲間の姿を見たり、おとなの期待を読み取りつつ、心の内で「こうありたい」自分を描き、がんばろうとする気持ちが高まっていきます。どんなふうにしたらいいのかを本人なりに納得して、ちょっとしたきっかけがあれば、たいへん大きな力を発揮してくれます。

その一方で、ちゃんとしなくてははいけないという思いが強い分、心が大きく揺らぎ、気持ちの崩れが生じやすい場面もあります。それは、見つめ直したり、ある判



断をするときの基準が、まだまだ一面的で、融通の利くものになっていないことによります。たとえば、跳び箱が「うまくできる」ことは、〇〇君のように四段を勢いよく跳べることで、それ以外は「うまくない」と二分的に考えたりすることがあります。しかし、それは他人の弱点を指摘しているようにしか見えず、新たなトラブルの火種となってしまいます。

がんばりたい気持ちはありながら、うまくできない状況に置かれると、子どもは人の心を理解する力を発揮して、おとなの期待や勝ちを一面的に取り入れていくことが、場合によっては出てきます。友だちを注意する口ぶりが、保育者・教師とまったく同じでドキッとしたとささやかれるのも、そうしたところです。本人が納得してわかることを経由しないで、おとなの顔色によって、子どもが行動を取り繕うことがないよう留意したいところです。

～子どもの発達に共感するとき 木下孝司・著～

【次回のさくらんぼ教室のお知らせ】

2月のさくらんぼ教室は**お別れパーティー**をします。

- ・さくらんぼ①：2月8日(木) (最終回です)
 - ・さくらんぼ②：2月22日(木) (最終回です)
- 持ってくる物…水筒・シューズ

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は100円です。制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください

【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々での感染状況を見て着用をお願いする場合があります。
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてききましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください。
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある時は参加をお控えください。
- ・園内の換気や消毒は引き続き続けます。